

構宣傳の罪甚大なものあるを知るのである。正當なることを理解せしむる爲に、若くは誤解に陥つてゐるのを匡正する爲の宣傳は大いに努めなければならぬ。我主張を徹底せしむる爲の宣傳の要あるはいふまでもない。我方の是等宣傳に果して缺くる所がないかどうが、
△第二次大戦と合理化（七日付朝日）

今次歐洲戦争は總ての點から觀てその規模は複雑化し、その目標も亦遠大であり、戦争の發展過程もこれに應じて一面戦争一面建設の立體的形態をこるることとなり、目指す所謂最後の勝利なるものも從來に比し遙かに複合微妙な性質を帯びねばならないであらう。かくして今次大戦の現段階は第一次大戦に於て遺憾なく暴露されたナポレオン戦術の缺點を是正し、最善の防禦は攻勢なりとの定説を覆して最善の攻撃は防禦なりとの新戦法を適用しつつあることは注目し値しよう。又獨及び英佛の軍事當局が何れも今次大戦の目的と意義をよく認識して、妄に部分的なる戦術の勝利に専念するの餘り全局的判断を誤る如きことを自戒し無益なる科學的大量殺戮を控へつつ、戦争遂行に一視の合理化を行ひつつある如く觀られることは、興味深く今後の推移に關心する所以である。

△其他「教育界の活動方向」（八日付朝日）

「東亞同文書院の大學昇格」（七日付讀賣）、「木炭と國有林」（七日付報知）、「根津翁を悼む」（七日付國民）、「待望の新政權、府の逆宣傳、外交の調整、交通の不安、藝術院改組」（七日付都）

内閣情報部一、九 情報第一號

大美晚報電台北京語放送（一日）

支那派遣軍報道部報告

「蔣介石、年頭の辭を發表」

「アナウンサーの挨拶」

抗戰第三度の元旦を迎へ上海全市は旗を掲げ慶意を表し、各團體は均しく勉勵すべき文を呈し民衆奮起して節約を勵み建國儲蓄に邁進するを期せり。

各位よ本日は中華民國二十九年の第一日なり。吾人此の地に於て青天白日旗に敬禮を行ひ、前線氷天雪地の地に於て國家民族の爲に自由を争ふ將士に敬意を表し、全國各地の本紙讀者及本電台聴取者に自由と光明の大道に努力邁進しつゝあるを慶祝するものなり。

威脅を受けず利に誇はれず自由に邁進する努力に感服するものなり。意志薄弱なるもの甚しく國難を想發する者敵と難を致すもの今や機上に立てり。新らしき前途に向ひ積極的に邁進し、祖先來の光榮を引繼ぎ幸福増成する全國同胞の代表者と自由萬歳を奉唱せよ。

二、蔣の年頭の辭

（重慶三十一日發）國民精神總動員を全國に實施して以來己に八ヶ月を經過し、本日は民

國二十九年の元旦を迎ふるに當り、蔣委員長は特に國民精神總動員會々長の名義を以て全國々民に激勵のラヂオ放送を行へり。

「我々の抗戰の目的は必勝建國必成にあり。各位は一致し之に努力すべきなり、我々は力の運用如何を問はず、抗戰をして速かに勝利を獲得せしめ速かに建國を成功せしむべし。精神は造物の母なり。物資運用の主なり。精神の力は一切の物質を超越す、總理嘗て曰く武器は物質より造られたるものにして之を選用するは精神なり。二者を相較ぶるに精神の力は其の九を占め物質の力は僅か其の一に過ぎずと、總理が中國大業を創建するに當り、雙手空拳を以てし今日の偉大なる民國を造成するに至る間一として精神に依らざるものなし、中國の物質方面に於ては稍劣る所ありと雖も之の困苦艱難の秋に當り、建國抗戰の二重大事は凡て相合して完成さるべく目下の時期は五千年の歴史上に未だ見ざる重大時期なり。我々抗戰に關して言はんはんに己に三年を迎へたるが昨年一年中に敵は種々の方法を用ひ我々の意志を動搖した又我々の精神を動揺せんせしめ我々民衆の一心は敵の斯かる奇略に乗らず、然し我々の妄望は之を破碎し停止するの必要あり。我々は日人の我々に對する精神攻撃は更に激化するものと豫期す、戰爭は更に續き戰愈々最後の勝利に近づかんこと、我々の環境は更に困難を加へ危険を加ふる時來るべし。

茲に更に力を昂め之を整備する必要あり。戰捷への一切の刀量は以て最後の勝利への工作

を完成せしむ我々先づ昨年三月十二日領布せる國民精神總動員の綱領を檢討せんことす。

五月一日全國が之を實施して以來己に八ヶ月を経過せるが精神總動員は物質のみに非ず、精神は各國民夫々が持つものにして之を改進伸展せしむべきものなり。精神總動員實施以來己に之に經過せる八ヶ月の結果は短時日に論ずる事を得ざるも總動員委員會の報告より見るに未だ満足すべきものに非ず、精神は個人の中に在りて一切の思想智力を一方面に集中すべきものなることを知るを要す。我々の思想は凡て一の目標に集中され、之が効果を伸展さすが爲に至大至高の效用を效するを必ずや各位一國民の意識の中に到達すべきなり。斯くの如き事は道を以て知るを得ず八ヶ月の工作を檢討し僅かに一起點に到達せしむる、今後各責任者は此の工作者達を激勵速かに此の責任を遂行すべきなり。」

全國民に告ぐ

「國民精神は自己の發動するものなり、古言に曰く、天下の興亡匹夫其の責あり。國家民族の盛衰存亡又盛大なる關係あり。

各國民良智良能を有するものは均しく國に盡忠を效し、民をして孝を盡し必死の精神を完成し、民族復興の大業を效すべし、個人一切の智能は國家に貢獻すべきものなり。力あるものを效し錢あるもの錢を效し、力量を發揮し新物質を造成し抗戰力量を無限に昇らしむべし。而して自ら己に救國の責任を盡せるや否やを反省すべし、國家至上、民族至上、

軍事第一勝利第一に向ひ意志を集中し力を集中し、全國上下統一の成功に達せしむべし」
陷落地區内の同胞に告ぐ

「各位は日人の鐵蹄の下に千辛萬苦の極を受く、我々は時に軍民を督察し、前進せしめ必ずや各位を救助せしむべきを考慮し、以て抗戰建國の任務を達成せんことを。

歴史上に許多の悲嬉交々の事あり、實に凡ての者艱難困苦の環境に在り、故に各同胞に只之れ貴下の奮闘を期待し以て討つと萬事之なり。

し全國軍民よ、日軍に重大打撃を與へ日軍を驅逐し、山河を克服するを重要目的とすべし、
陷落區内の同胞も一致奮起協力し此の大業を完成すべし」

最後に黨政軍人及社會首腦者に告ぐ

「各位は地位的に智能に凡て一般同胞の上位を占む、精神總動員の遂行に方り領導的に之を實施するの責任特に重大なり。須らく窮を以て當り、精神總動員の工作に更に充分の勢誠、信心を倍加し、中國存亡、民族生存抗戰成敗の第一の大事に關係ある之が工作に力を盡すべし、各國民が確立遂行に在り。各國民凡て此の事に對し窮を以て當るの二大必要事は確立遂行に在り。各國民が確立遂行と國家共同奮起を行ひ得ざれば此の種の大業の完成と民國統一は難かるべし、努めて民國先烈及び抗戰陣亡及び艱民同胞在天の靈に則り而して民國創始の我々の偉大なる總理の遺訓を發揮すべし」

三、白崇禧の演説

(慶林一日發) 白崇禧將軍は民國二十九年元旦に際し獻詞し最後の勝利を爭取するの第一義を明かにせり。

「吾人は國家統一の艱難を追憶し現在の重大困難の時期に提到し建國大業の成功と抗戰工作の勝利の重大性を感じるものなり、北伐の成功せざるの時に已に中國は統一の階段に入りたり、現代國家邁進途上に在りて日軍は之を深く知り突如として我が國訓政の時期に乗じ其の大陸政策の野心達成を企圖せり。

九、一八事件、七、七事件之なり。其の結果我々は全國抗戰を發動し、民族生存爭取に邁進すること、なれり。抗戰以來已に一年半、世界的に暴強の日本軍閥は互に相争ひ、一年半以來各方面の進歩困難なるを見、此か以て慰むるに足るものあ政治方面より説けば全國各黨は均しく國民利益の一切を認め各種政治の私見を放棄し、全國最高領袖蔣委員長の指導下に協同奮發せり。此の種精神は專實的に數十年來未だ見ざる所なり。國民參政會議の召集及び民衆の主張發表の爲めに定められたる本年度の國民大會開催は政治的發展の光明を窺知する所あり。軍事的に説くに抗戰發動と我が國々策は已に成功せりと雖も完成の目的尙遠し、技術訓練、戰鬥力は已に進歩の色あり。

我々の抗戰は戦と共に強化し敵人愈々軟化せり。之は中外人士均しく見る所なり。經濟

建設は戦起ると共に凡て敵人の破砕する所となりたるも國人協同奮發し、精神的力に依り西南西北の發展を促がし、國民經濟の基礎的發展を定めたる爲民主主義の理想の實現を期し得べし、理想方面に在りては以前の保守的の趣なく、今や國人の頭腦明晰にして一人として共同努力、政治工作の改革を知らざるものなし、斯くの如き事實は我が國が正に遂次猛進突飛しあることを證明するものにして已に全世界の賞讃を得たり。斯くの如く短時日の間に此の成功を獲得せることは凡て國民困苦艱難の中に奮闘せし爲にして吾人は建國を目的とする最大の決心と努力、一切の艱難を打破し最後の勝利を爭取することに關しては吾人は萬衆一心となり、後に在りては精神力量を併せ敵人の死命を制すべし。抗戰必勝、建國必成すべきこと茲に斷然として言明し得べし。」

呉鐵城の上海同胞に告ぐるの書

中華民國成立二十九年抗戰第三年に當り一別以來三年の上海同胞に告ぐ

上海事變に依り上海は神聖戰爭の第一頁を飾りたり。上海五十余日の浴血戰爭に依り、最後の勝利は其の時より生じたること當に全世界人士の視聽せる所にして各位父老兄妹の尊き幸甚に依るものなり。大美晚報は吾人の親友なり。未だ之を忘れしことなし、吾人の上海を去りし後四月にして再び八、一三の戰事發生せり。

諸父老兄妹抗戰に参加せるが悲嬉交々の事件は一二、八に比し十一倍を増加せり。三年來吾が父老兄妹の犠牲決心は一日として忘れたることなし。又一日として感激せざるることなし。吾が諸父老兄妹よ、正氣を以て惡環境と闘ひ以て努力進取せよ、大美晚報紙上に掲載せられたる各種の輿論に深く敬悼するものなり。

◎日本政局不安と米國
同盟來電—不發表

ワシントン八日加藤同盟特派員發

東京來電は汪精衛政權の諸問題が遂に閣議の承認を得、これが成立の近きを報ずると共に阿部内閣が對内問題で依然難局に直面し衆議院議員の過半数が阿部内閣不信任決議に署名したと報じ注目を惹いてゐる、最近に於ける日本の國內情勢に就いては米紙は相當の注意を向け寧ろ汪政權問題よりも阿部内閣の運命如何により多くの注意が拂はれてゐる有様であるが、對支問題、對米問題等の重大對外關係に直面し政策の遂行に邁進すべき内閣の基礎が搖ぎつつある如き印象を對外的に與へてゐることは事情の如何に拘らず頗る不幸なこと云ふべきである

東京電報は政黨勢力の擡頭を報じてゐるものの國內一致を缺いてゐる事實は對米交渉にしてもその重みを減ずるもので、米紙の中には日本は先づ我家を整へてかからぬ限り對支問題にしても對外關係にしても何も出来ないさ嘲笑つてゐる論評を掲げてゐるものすらある始末である